

あいさつ（要旨）

- 皆様方には、日頃から、本県の教育行政の推進に格別の御協力をいただきますとともに、「えひめ教育の日」の普及・啓発に対し、多大な御尽力を賜っており、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。
- 景気は緩やかに持ち直しているとの判断が出されたものの、長引く経済不況による格差拡大や、少子・高齢化、グローバル化の進展、そして東日本大震災などの影響により経済社会環境は大きく変化しており、子どもたちには、こうした厳しい社会を生き抜く力が必要となっております。
- 昨年度も、東日本大震災による被災地域の学校の修学旅行支援を通じ、被災地と本県の高校生との心温まる交流が行われたほか、今年春の第85回選抜高校野球大会では済美高校が準優勝を果たすなど、互いに助け合い、支え合う豊かな心や、たくましさを持った児童・生徒が育っていることを心強く思っております。
- 一方では、児童・生徒の減少に伴って、学校現場では、子どもたちが切磋琢磨し合う機会が減少するとともに、家庭における教育力の低下が指摘されるなど、さまざまな課題を抱えており、学校・家庭・地域、そして行政がそれぞれの役割をしっかりと果たし、連携、協働しながら、教育に取り組むことが求められております。
- 「えひめ教育の日」推進会議では、こうした状況を踏まえ、平成20年に、県民総ぐるみで愛媛の教育について考え、行動する契機となる日として、毎年11月1日を教育の日と定め、推進フェスティバルや推進大会等を通じて普及・啓発に取り組んでいただいております。改めて感謝申し上げます。
- 県教育委員会におきましても、学校支援地域本部の活動促進や、「親子のふれあい・つながり」をテーマとした「ポスター・作文・エッセイコンクール」の実施のほか、教育活動に支援いただける企業・団体を「えひめ学校教育サポーター企業」として登録、データベース化し、学校等が活用できる体制の整備に取り組んでいるところであります。今後も、社会総がかりで教育について考える機運をさらに盛り上げ、「えひめ教育の日」の普及・定着に取り組んで参りたいと考えておりますので、どうか皆様方には、活動の拡大・強化をはじめ、関連事業の実施や県民へのPRなどに一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。
- 「えひめ教育の日」が県民一人一人の心に根付き、「愛顔（えがお）あふれる愛媛県」の実現につながることを祈念申し上げますとともに、本日ご参会の皆様方のますますの御健康と御活躍を心からお祈り申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。